

福知山線脱線転覆事故から20年
西日本安全集会に80人を超える参加者

代表して植田執行委員長がこれま

2025年4月26日、国労大阪会館の大会議室においてリモートを併用しながら「福知山線脱線転覆事故から20年 西日本安全集会」を開催しました。

員長のから経地のやに
か渉交過震地関
す




職場環境を変え風通しの良い職場を築こう！

2005年4月25日に発生した福知山線脱線転覆事故から20年、この間、西労組と共に「安全性向上計画」「検証報告集会」の取り組み、安全性向上計画監視委員会や安全基本計画監視委員会の立ち上げ、会社と労働組合が「丸」になって安全を考える「労使安全会議」など、様々な取り組みが行なわれてきました。

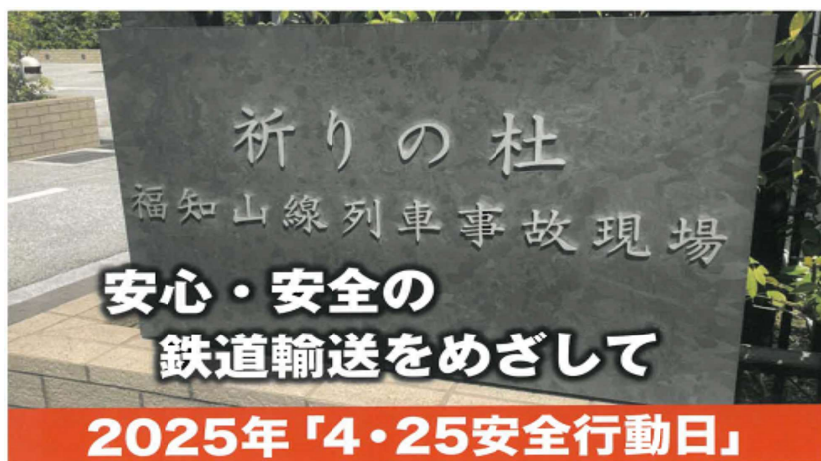
岡山地方本部・
青山書記長から地
方本部で取り組ん
できた宣伝行動の
報告や交渉、職場

る取り組み、急速に進む合理化施策の問題等報告がありました。

近畿地方本部・江口書記長から、これまでの地方本部での取り組みや現在の会社との交渉状況等の報告がありました。



福知山線脱線転覆事故から20年
西日本安全集会



IR福知山線事故から20年

2005年4月25日に発生したJＲ磐城山越事故から今年で20年となりました。

この事故が死者107名、負傷者562名に及び未曾有の大惨事となった原因として、競合する私鉄との競争に勝つためにスピードアップ化を行ない、運転本数を増やすなど、輸送の安全より利益追求が優先されたことや、連綿たる日勤教育など社員管理のあり方が大きく影響してい

策を積極的に進めています。その結果、架線や鉄道設備、車両等の保守・点検の稼働力の低下や要員効率化に起因する停電トラブルが発生するなどの輸送の安全が大きく脅かされていきます。

とりわけ、J・R関連会社やグループ・協力会社等で相次ぐ労災死亡事故の発端、なかでも技術継承や教育の充実は、J・R各社に共通する喫緊の課題です。

政府は、2000年から鉄道事業法改正など運輸関係の規制緩和を進め、新規参入や撤退、運行路線の休廃止など免許・許可制から届出制に制度を移行させました。また2001年の「省令改正」によって事業

昨年7月には、JR東海で新幹線保守用車同士が衝突、9月には山陽新幹線で保守用車が動かなくなり、山陽線新山口駅構内で発生した貨物列車脱線事故で輪軸不正問題が発覚、その後も国営や鹿児島県、貨物列車が相次いで脱線、JR東日本では315キロで走行する東北新幹線の津軽海峡トンネルで分離する事故が発生し、3月にも東横線同様の事故

これによって、JRでは車両や線路などの検査周期の延伸が次々と行われたほか、線路や電気設備、駅の出入りや車両のメンテナンス業務などはグループ関連会社にて「業務委託」されました。

しかし今、こうした鉄道事業の外注化に加えて、技術継承や教育の不十分さ、社員の労働条件の悪化が、JR各社で多発している輸送障害や鉄道事故を引き起こす背後要因ともなっています。

何よりも鉄道輸送の最大の使命は安全輸送の確保にあり、事業者であるJRとこれを所管する行政が二重のチェック体制でしっかり確保していかなければなりません。

私たちは鉄道の輸送業務に携わる労働組合として、安全規制の強化と安全最優先の企業づくりに向け、利用者と地域の皆さんと運動を道

JR各社では今、効率化や要員削減を柱とした業務委託・外注化施

めていきます。

- ※ 営利優先ではなく、安全を最優先とする経営を行うこと。
- ※ 「規制緩和」を見直し、安全規制の強化を国と事業者が行うこと。
- ※ ホーム上での事故横断に向けて、ホーム要員の配置とホームの改善を行うこと。
- ※ 業務委託や非正規社員導入など低コスト主義を改め、安全に係る業務は鉄道事業者の直営とすること。
- ※ 安全・防犯の観点から無人駅をなくすこと。
- ※ 安全確保のために労働条件や労働環境を抜本的に改めること。

での闘い等の報告がありました。

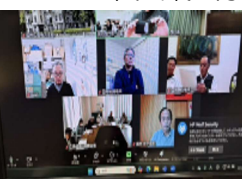

米子地方本部・吾郷書記長から、安全に対する討論会や安全考動計画監視委員会の報告等がありました。

広島地方本部・佐々木執行委員長から、当時の職場状況や交渉経過、



を開催し、午前中に祈りの杜献花訪問、意見交換会、集会参加の感想等をいただきました。

最後に大和執行副委員長が閉会の挨拶を行い集まりを終わりました。



国
劳
西
日
本

国劳西日本本部

NO. 382

発行責任者 植田 重信

編集責任者 大北 真也

国劳西日本HP



日本西劳国

检索



TUNAG

TUNAGを利用中
組合員の皆さん登録しよう
登録は西日本本部または地方本部へ

私たちが働く職場、 誇りをもって働けるように 職場環境を良くしよう！

おかしいことはおかしいと主張しよう！

国労加入大歓迎！

相次ぐ国労加入！一緒に変えていこう

この間、全国的に見ても国労への加入が相次いでいます。特に若手の加入が増えています。新入社員の加入もありません。皆さんがこれから働く中で困った事などあればぜひ「国労」に相談してください。ネット上で「国労西日本」と検索すると西日本本部のホームページが見えます。問い合わせも増えています。労働組合に加入していてもしていないだけでもいい。



少子高齢化、人口減少により、世の中の採用者の確保が困難となっています。JR各社、新卒入社はもちろん社会人採用等の中

私たちにはより良い会社にする為に、働きやすい職場環境にする為に声をあげていきます。皆さんも一緒に声をあげませんか。皆さんの加入、心からお待ちしています。

国労西日本本部拡大速報
No.705 2025年4月15日
国労西日本本部 組織部

米子地方本部

J R 西 日 本
J R 採 用 者

本人コメント

「これから、国労の皆さんと職場環境を健全にしていけるため、共に頑張ります！」

第38回大会以降、6人目
職場オルグを展開して
各地方1名以上の拡大をやりきろう！

がん保険にできることを、もっと。



幅広い保障による経済的な安心に加え、さまざまながんの悩みの解決をサポートするがん保険

1 幅広い保障で経済的負担をサポートします。
治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり償えることができます。また、公的医療保険制度の対象とならない新しい治療なども保障し、がん治療の選択肢が広がるようサポートします。

2 付帯サービス＜アフラックのよりそうがん相談サポート（*）＞
「アフラックのよりそうがん相談サポーター」がさまざまながんの悩みの解決をサポートします。

よりそうがん相談サポーターは、がん患者様のご相談サポートの経験がある看護士・社会福祉士等のメンバーで構成された専任のサポートチームです。お一人おひとりに寄りそい、信頼できる情報やサービスのご案内を通じて、納得のいく治療・療養生活や意思決定を実現できるようご支援いたします。



（*）アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社が受託するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ <https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html> をご確認ください。

©商品およびサービスの詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

（募集代理店）（アフラックは代理店制度を採用しています）

アベニール株式会社

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

（引受保険会社）

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック

東京第二法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル20階
TEL.03-6385-9029